

## 小論文 試験問題

(NO. 1 )

次の文章を読んで、質問に答えなさい。

相互的因果を特徴とする技術の世界と、そこでの人のあり方を考えるために、「環世界」という概念を導入することにしよう。環世界とは、個人の外部に想定される自然環境のことではなく、むしろ、生活環境というように、人が作り出した人工物を含む意味で用いられる術語である。それは、身体とは別に存在している世界のことではなく、身体の延長上に、身体と互いにかかわりあって現れる世界を指す。つまり、環世界という概念によって明らかになるのは、<sup>(1)</sup>誰も「自然そのもの」や「世界そのもの」を知覚してないということである。人にとっての世界とは、人が知覚することができ、また人に作用することができる世界のことである。自らの身体と技術をとおしてなんらかの関係性をつくりだせる世界を生きることしかできない。身体と環境の連関から世界をとらえる環世界論は、生物の世界からひきだされた概念である。そして、この概念を人の世界にまで拡張しようとするときに避けてはおれないのが、技術の問題なのだ。なぜなら、人は技術を用いて環境に対峙してきただけでなく、環境そのものを技術によってつくりだしてきた生きものだからである。

自動車は、人間が一生のうち移動できる距離を大幅に拡張した新しい移動手段であった。だがそれは、便利な移動の道具という以上に、物流のしくみを変え、新しい市場を生みだし、都市の形態や景観を変え、事故や公害をひきおこし、働き方から時間の観念に至るまで、現代社会の生活に広範な影響を及ぼしている。私たちの生活が、こうした科学技術の発展と普及のうえに成り立っていることは疑いない。だとすれば、<sup>(2)</sup>現代人を理解するためには、私たちが直面している環世界の変化に目を向けないわけにはいかないだろう。現代の人類学は、こうした関心に導かれて、あらたな技術論を展開している。

身体もまた、科学技術の進歩と普及のなかで、大きな変化にさらされている。病院という特殊な環世界に目を向けてみると、そこではときに相互理解が困難なほどに多様な身体が現れていることがわかる。顕微鏡をとおして医者がみている患部と、痛みのただなかで患者が感じる身体とでは、知覚されているものがまったく異なっている。ワクチン接種のリスクがパーセンテージで示されるとき、そこでは患者は自分の身体ではなく「統計学的に構成された身体」が問題となっている。これらの身体は、決して互いに無関係ではないし、バラバラに存在しているわけではない。むしろ、身体にかかわる様々な知がネットワーク状の広がりをもつことで、医療環境が成立していると考えられる。

このとき、「身体そのもの」を理解するのは異なるアプローチが必要となる。人を含む生物が、「世界そのもの」を生きているわけではないという環世界論を思い起こしておこう。病院のなかでの医者と患者のように、個別の技術、環境、実践をとおして知覚される身体は、たしかに複数ある。しかし<sup>(3)</sup>それらは、身体そのものではないし、身体のすべてでもない。身体は「1より多い—しかし、多よりは少ない」ということだ。つまり、身体は「ひとつの」世界にとどまるものではないが、とはいえ、あらゆる可能性の総体としても、潜在的な場の全体という意味での「身体そのもの(=世界そのもの)」としても決して経験されていない。私たちの世界や、一人ひとりの生が、それぞれの生きる環境によって多様であるということは、こうした意味で理解する必要がある。

これまで、人と技術のかかわりをめぐる人類学の研究をとおして、技術についての相反する理解—人間が作り出した便利な人工物であり、かつ人間に対する脅威でもある—に、一貫した見通しを与えることを試みた。有史以来、技術的な環境こそが人にとって

の生きる環境であった。そして、現代に至るまで技術は、その特異な構成において、私たちの環世界をあらたに生み出し、また人間性の再定義に関与しつづけている。もっとも、現代における技術の問題は、それほど悠長な話ではなくなっていることも事実である。

生命の改変は言うまでもなく、いまでは雲や雨といった「自然現象」ですら、気象工学の操作対象となっている。気候変動や核兵器の使用に関しては、私たちの生きる世界そのものが完全に破壊されてしまう可能性もある。変化を続ける私たちの環世界が、人が生きる世界としてこの先も維持可能かどうか、真剣に問われている。現代人は、ただ道具を作り出しているのではなく、自らの生きる環世界そのものを次々に作り変え、そして自らをつくりあげてきた。その行き着く先に自らの生命の危機があるのだとすれば、私たちは、哲学者ベルクソンが記した「(道具の) 製作行為を無際限に変化させる能力」を、自らの手でうまく飼いならしていかなければならないのだろう。そこに困難があるとすれば、何よりそれは、そうした英知が、「人の本性」からひきだされるものではなく、技術がもたらす相互的因果のなかで、変化しつづけるこの世界において見出さなければならぬものだという事にある。

出典：山崎吾郎 (2019) 「技術と環境」『文化人類学の思考法』松村圭一郎ほか編著  
世界思想社より一部改題

問1: <sup>(1)</sup> 誰も「自然そのもの」や「世界そのもの」を知覚してなどいないとあるが、なぜそう言えるのか。「環世界」とはどんな世界なのか説明しながら、自然そのものや世界そのものを知覚していない理由について、120字程度でまとめてください。(30)

問2: <sup>(2)</sup> 現代人を理解するためには、私たちが直面している環世界の変化に目を向けないわけにはいかないとあるが、この文章の直前に記された「自動車」のほか、私たちの身近にはどんなものが環世界の変化に影響を与えているか。またそれは現代人の何を理解することにつながるか。例を挙げながら150字程度で説明してください。(30)

問3: <sup>(3)</sup> それらは、身体そのものではないし、身体のすべてでもないとあるが、どういうことか。例を挙げながら170字程度で説明してください。(40)

小論文 問題用紙 (NO. 1)

次の文章を読み、設問に答えなさい(解答はすべて解答用紙に記入すること)。

社説 ファクトチェック 公権力が判定する怖さ

社会に混乱をもたらし、有権者の判断をゆがめる偽・誤情報が猛威をふるう。宮城県の村井嘉浩知事は、「デマ」の飛び交った10月の知事選を踏まえ、今後の国政・地方選挙に備えて「県として第三者的な立場でファクトチェック」をして警察への告発を支援する体制が可能か検討すると表明。党に関わる情報などの「ファクトチェック」を掲げる政党も相次いでいる。

生成AIが偽画像やもっともらしいデータを作り出す時代に、情報の判断は格段に難しくなっている。偽・誤情報にのみ込まれると「自分なりに正しい情報を確認できた」と錯覚し、異なる情報は耳に入らなくなりやすい。それがさらなる不信と分断を生む。

だからこそ、一次情報を収集、調査できる立場にある政府や自治体の役割が大きいのは確かだ。例えば、根拠なく「ここで川が氾濫(はんらん)している」「事件を起こしたのは外国人だ」といった情報が拡散していれば、実際に確認できた事実をすみやかに発信する必要がある。科学的根拠が皆無な大災害の予測など、影響が大きく、情報の積極的な否定が求められる場合もある。

ただし、公権力が「ファクトチェック」の名の下に真偽を判定する立場を担うことは、慎重であるべきだ。政策や事業を批判する発信に「間違いだ」「虚偽だ」と判定を下すことで、社会が権力の誤りや不正を監視する機能が弱まりかねないからだ。

現在のファクトチェックの原点は、2000年代の米国で、政治家を中心とした公人や政府の発信を検証し、証拠を示した上で真偽を判定する手法が、専門メディアや新聞社に広がったことにある。

強い権限を持つ公権力は、一義的には発信を監視される側だ。反論の域を超えて「真偽の判定」に踏み込めば、副作用が大きい。かえって不信を深める人もいるだろう。

世界ではシンガポールやインドのように政府が情報の真偽の判定を行っている例もあり、インドは人権団体から「政府が真実の唯一の裁定者になる」と批判された。各国のファクトチェック団体が集う国際ファクトチェックネットワークは、「非党派性と公正性」や「資金源と組織の透明性」を原則に挙げる。

行政は、政策に関する偽・誤情報に対して、統計資料や法的根拠を示し粘り強く説明する。メディアは、現場取材など政府・行政発でない情報もふまえてチェックをする。それぞれが役割を果たし、個人が情報リテラシーを高めることが、偽・誤情報をはびこらせない地道な一歩になる。

(社説 ファクトチェック 公権力が判定する怖さ 朝日新聞 2025年11月16日)

「朝日新聞社に無断で転載することを禁じる」承諾番号：26-0187

問 次の点を全て含め、700字以上800字以内の小論文を書きなさい。

- ・ 筆者の考えをまとめた上で、あなたの意見とその根拠を述べる
- ・ 具体的な事例、自国との比較、あなた独自の提案を含める

2026年1月16日

2026年度

中央大学 総合政策学部

外国人留学生入学試験

小論文問題用紙

注意事項

- 1) 試験時間は60分です。
- 2) 終了の合図があるまでは答案を提出することはできません。

小論文課題

問題 以下の問題文のうち一つを選び、1,000 字程度で解答してください。

1. 現代社会では、インターネットや SNS、AI といったデジタル技術の発展により、私たちの表現方法やコミュニケーションの形が大きく変化しています。これらの技術は、新しい言語表現や創作活動、共有文化のあり方を生み出す一方で、言葉の行き違いや価値観の衝突も引き起こしています。このような変化を受けて、次の問いについて具体例を交えてあなたの考えを述べなさい。

問：デジタル社会において文化を表現する方法は、人々のつながりや理解にどのような影響を与えているか。あなたの経験や見聞を踏まえて論じなさい。

2. 日本では少子化や人口減少が進行し、特に地方においては地域社会の存続が大きな課題となっています。また、地域の労働力不足や高齢化の進行により、自治体の行政サービスや産業維持も困難になりつつあります。こうした中、地域資源を活かした産業振興や、移住・定住支援など、さまざまな対策が模索されています。

問：地方の活性化を実現するためには、どのような社会的・経済的な支援が必要だと考えますか。

あなたの暮らしや身近な地域を参考にしながら、実現可能な施策について論じなさい。

2026 年度 中央大学国際経営学部

外国人留学生入学試験【A 方式】

## 筆記試験「英語」 問題用紙

### 【注意】

- ・机の上に置けるものは、受験票とシャープペンシル、鉛筆、鉛筆削り、消しゴム、通信機能が搭載されていない時計のみです。
- ・試験監督の指示があるまで、問題用紙を開かないでください。
- ・解答は、すべて解答用紙に記入してください。
- ・試験終了後、問題用紙・解答用紙を回収します。

外国語（英語） 問題用紙（NO. 1）

I . Fill in the blanks with the most appropriate words or phrases from the options. Write the letter (A, B, C, or D) corresponding to your choice on the answer sheet.

- (1) Mika is responsible \_\_\_\_\_ coordinating the annual conference.  
(A) to, (B) for, (C) of, (D) with
- (2) The committee approved the budget, \_\_\_\_\_ the agency's recent performance metrics.  
(A) in light of, (B) due, (C) despite of, (D) owing
- (3) Had the board \_\_\_\_\_ the auditor's concerns sooner, the lawsuit could have been averted.  
(A) downplayed, (B) heeded, (C) diluted, (D) deferred
- (4) The new brochure contains several \_\_\_\_\_ errors that make the brand look unprofessional.  
(A) impractical, (B) complimentary, (C) ungrammatical, (D) typographical
- (5) Demand tends to \_\_\_\_\_ as summer ends.  
(A) wrap up, (B) shut off, (C) taper off, (D) break down
- (6) After her internship, she accepted a position \_\_\_\_\_ Nintendo.  
(A) on, (B) with, (C) to, (D) by
- (7) Thanks for your inquiry. Our team will \_\_\_\_\_ you by Friday.  
(A) revert, (B) talk, (C) respond at, (D) follow up with
- (8) Internal disputes can be damaging, \_\_\_\_\_ when departments compete for limited resources.  
(A) specially, (B) exactingly, (C) particularly, (D) uniquely
- (9) Costs kept rising; \_\_\_\_\_, the project was postponed.  
(A) as a result, (B) thereby, (C) despite this, (D) meanwhile
- (10) Some argue that automation will make work meaningless; \_\_\_\_\_, it often shifts tasks toward more creative roles.  
(A) however, (B) in contrast to, (C) as well as, (D) likewise

II . Read the following article and answer the questions below.

Rice has played a central role in Japanese life for more than two thousand years. It is believed that rice (1) \_\_\_\_\_ was introduced from the Asian continent around the Yayoi period, about 2,300 years ago. Migrants from the regions of present-day China and Korea introduced both rice seeds and the (2) \_\_\_\_\_ methods of paddy cultivation. These agricultural practices took root rapidly across the Japanese archipelago, as the country's humid climate and abundant rainfall provided ideal conditions for their adoption. From that time on, rice became more than just a crop. It turned into the (3) \_\_\_\_\_ of agriculture, economy, and culture in Japan.

Throughout Japan's long history, rice was also deeply connected with politics and taxation. For centuries, there was a system called "nengu," in which farmers paid their taxes with rice. Local rulers collected rice from the people as a symbol of loyalty and as a practical way to store wealth. The amount of rice a domain could produce, measured in units called "koku," was used to (4) \_\_\_\_\_

the power of that region. In this way, rice was not only food but also a measure of economic strength and authority. Castles, towns, and even armies depended on this flow of rice as tax.

In modern Japan, society has changed greatly, but rice is still the traditional staple food, eaten daily in many forms, such as, steamed rice, sushi, and rice balls. People continue to eat rice daily in many forms, such as plain steamed rice, sushi, rice balls, and more. However, the amount of rice consumed per person has declined (5) \_\_\_\_\_ recent decades, because diets have become more varied and bread and noodles are now common. At the same time, the issue of self-sufficiency has become important. Japan produces much of its own rice, but the overall food self-sufficiency rate is low. For this reason, rice remains a symbol of cultural identity and a key topic in discussions of national food security.

Q1. Fill in the blanks with the most appropriate word from each option. Write the letter (A, B, C, or D) corresponding to your choice on the answer sheet.

- (1) (A) calculation, (B) consultation, (C) culmination, (D) cultivation
- (2) (A) enthusiastic, (B) sophisticated, (C) advanced, (D) colonized
- (3) (A) cornerstone, (B) contamination, (C) coincidence, (D) constraint
- (4) (A) enlighten, (B) entertain, (C) eliminate, (D) estimate
- (5) (A) across, (B) among, (C) over, (D) through

Q2. In the following True–False statements, choose the correct answer from the passage. Write the letter (T) or (F) corresponding to your choice on the answer sheet.

- (1) Rice spread quickly across the Japanese islands mainly because the techniques of wet-field farming suited the country's climate.  
(T) True, (F) False
- (2) The “nengu” system showed not only loyalty to local rulers but also functioned as a way to store economic wealth.  
(T) True, (F) False
- (3) In premodern Japan, rice was seen only as food, while money and land measured political power.  
(T) True, (F) False
- (4) Although modern diets in Japan have diversified, rice continues to be regarded as the traditional staple food.  
(T) True, (F) False
- (5) According to the passage, Japan is fully self-sufficient in rice and has no food security concerns.  
(T) True, (F) False

III. Take a position on the following statement. For the purpose of this question, you must either agree or disagree.

(90-100 words in English)

**Social media apps should display health-related warnings about heavy use and teen mental health.**

IV. Read the following article and answer the questions.

In Australia, the Donation Dollar is a one-dollar coin for everyday use that carries a quiet invitation to give. It looks and feels like any other coin, but with a green center and the words “Donation Dollar Give to help others,” it turns the moment of receiving change into a small pause for generosity.

The coin is legal tender, so it can buy a coffee or a bus ticket, yet its best use is to be passed on to a charity box, a community fundraiser, or someone who needs help. The idea is simple. Put enough of these coins into circulation that most people will encounter one during everyday shopping. Because coins can remain in use for many years, a single piece can prompt many small acts as it moves from hand to hand. Even the wear pattern supports the story, as the color scuffs and delicate ripples appear, symbolizing how a small gift can spread outward through a community.

The coin works because it restores a tactile moment that has faded in a more digital economy. You do not need an app, an account, or a form. You only need a coin and a clear place to give it. Parents can hand a Donation Dollar to a child and start a simple conversation about helping others. Teachers can build short projects in which a class collects coins for a single purpose, such as books for a library or meals for a shelter, and then shares the result. Shops and cafes can place a small sign at the register that says Drop your Donation Dollar here, while community banks and post offices can pool the coins and show a local total on a counter card. Local groups can use the coin as a friendly talking point in posters, newsletters, and seasonal appeals. The goal is not to replace larger or recurring gifts. It is to make small acts of generosity feel normal again in places where cash still changes hands. In this way, the coin becomes a habit anchor. It creates a brief pause in a routine moment and turns a good intention into a quick and simple action.

There are limits. Not everyone recognizes the coin, and some keep it as a curiosity. Cashless payments reduce the frequency of coin transactions, and counting and banking coins costs time and money for charities. A small gift can also give a sense of being done, which may reduce interest in larger support. These issues can be eased with clear messages about impact and by pairing coin prompts with simple tap-to-give options, so the cue remains strong even when no coin is in the till.

(1) Translate the underlying part in Japanese.

(2) この説明文を 180-200 字の日本語（横書き）に要約しなさい。

句読点の正しい使用も評価に含める。ひらがなやカタカナのみの解答、および数字やアルファベットで文字数を必要以上に増やした場合、減点の対象となる。